

売上低迷で苦戦、先行き不安が顕在化

2月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

寒波による生産の減少や配達遅延のほか、売上低迷期で受注や客足が落ち込むなど、多くの業種が一層苦戦を強いられている。また、原材料価格の上昇による収益圧迫や、人手不足が事業に及ぼす影響等が懸念事項となっている。景況感の足踏み状態が続く中、明るい材料は少なく先行き不安感も高まっている。

製造業	食料品		パンは、原材料価格の上昇に伴う販売価格の値上げが予想されるも、客数減少を高付加価値化等による客単価上昇で補うことが見込まれる。製麺は市場の荷動きが例年以上に鈍く、生麺・乾麺ともに苦戦を強いられている。酒造は吟醸酒・純米吟醸酒の売上好調に加え、純米酒の一部銘柄では在庫切れも見受けられる。
	繊維・同製品		桐生織物は和装織物の求評会が好評で、婦人服地も新商品の発表等を行うテキスタイル展示会に期待している。伊勢崎織物は伊勢崎銘仙の引き合いがあるものの、技術者の高齢化等で取引に至らない状況。春夏ニットは寒さの影響で消費者の購買意欲が未だ上向かず、春物商戦は盛り上がりを欠いている。
	窯業・土石製品		生コンは東毛地域が民間物件の増加で好調に推移する一方で、山間部は公共工事関連の発注が少なく停滞気味となり、全県の出荷量は前年割れで推移している。碎石は吾妻地域で運搬業務が増加する反面、西毛・東毛地域の公共工事が伸び悩むなど、地域間格差が見られるも全体では横ばい状態で推移している。
	機械・金属		SUBARU関連は依然好調が続くも、販売から1年が経過した新型インプレッサの新型車効果が一段落した影響で、国内・海外ともに生産量は減少傾向となる。鍍金は自動車関連が堅調に推移するも、加工処理に必要な銅やニッケル等の値上がりによる今後の収益悪化を危惧している。
	その他の製造業		木材は雪の影響による出材の遅れで原料が不足している状況。印刷は売上が増加傾向となり、今後も官公需受注が期待される。しかしその一方で、競合に伴う受注価格の低下傾向が見られており、今後の収益確保が不安視される。ゴムは一部企業において操業度が上昇している。
非製造業	卸売業		高崎卸は従来のイベントを大幅にリニューアルした「第1回高崎問屋街大感謝祭」を開催し、開場前に500人が列を作るなど約5,000人の来場者数を記録。農産物卸は昨年台風や寒波による厳しい寒さの影響で冬野菜が品薄状態となり、例年にない高値で推移している。
	小売業		中古車オークションは大型オークション開催の効果が大きく、成約率・手数料収入ともに好転している。生花小売は寒波の影響による生産量減少で仕入価格が高騰していることに加え、冬場における花持ちの良さや個人需要の伸び悩み等による売上不振で苦戦。商店街は寒さの影響が大きく、売上・客足ともに低迷。
	サービス業		草津の温泉旅館は本白根山噴火の影響で売上・収益ともに伸び悩むも、一部施設では週末における満室状態や外国人観光客の増加が見受けられる。藤岡市域における不動産取引は、一部地区における住宅用地の需要が増加傾向にある一方で、住宅購入に伴う退去者の増加等で賃貸住宅の需要が落ち込んでいる。
	建設業		電気工事は継続・安定的な受注が少なく、若年層の積極的な採用が困難な状況。塗装工事は発注時期の平準化で順調に推移するも、人手不足感の高まりによる工事の進捗悪化を不安視している。鉄構は工期の遅れで仕事量に格差が見られる一方で、一部では仕事量が増加するも、単価低迷により「利益なき繁忙」の状態。
	運輸業		北陸地方における大雪の影響で、一部では通行止めによる遅延が発生。また、労働時間短縮に向けた高速道路の利用が増加する一方で、運転手不足を理由に受注を断る場面も見受けられる。小口配送は医薬品や建築資材リース関係の輸送量が増加傾向にあるも、遠方輸送の減少で全体では売上・件数ともに前年並みで推移。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 101.2(前月比▲13.9%)「県統計課・1月」
- 住宅着工戸数 1,104戸(前年同月比+4.8%)「県建築住宅課・1月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.10倍:有効1.61倍「群馬労働局・1月」
- 大型小売店販売額 210億円(前年同月比▲0.3%)「経済産業省・1月」
- 消費者物価指数(全国) 101.3(前年同月比+1.4%)「総務省統計局・1月」
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)